

## 東北大学病院研修医向け CV/PICCハンズオンセミナー

1月19日（金）に、東北大学病院研修医向けCV/PICCハンズオンセミナーをスキルラボで開催し、7名の初期臨床研修医が参加しました。講師に東北労災病院の西條先生と武藤先生をお招きし、中心静脈穿刺について実技を交えて指導いただきました。

はじめにエコープローブの持ち方や血管抽出の際の基本操作を学んだ後に、実際に超音波下穿刺トレーニングパッド(リアルベッセル)を使用し、エコープローブの操作を練習しました。参加者は、穿刺時の針先位置の確認のコツを指導してもらうことで、要領をつかんだようで繰り返し練習していました。また、CV穿刺の際は、エコープローブで血管の走行をプレスキャンする事前準備が重要であるという講師からのアドバイスのもと、よりの確に施すための技術を習得することができました。リアルベッセルで練習した後は、超音波下穿刺シミュレータを用いて、穿刺からカテーテルの挿入まで一連の流れを実施しました。

今回の研修では、CVの指導を主にお願いしておりましたが、末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）挿入についても、致命的合併症が起こりにくい・感染のリスクが低いという利点があるため、後半はPICCについても指導をお願いし、参加者はシミュレータを用いて超音波ガイド下での穿刺についても反復して練習を行いました。

講師より直接指導を受けることができたことは参加者にとって大変貴重な機会となり、知識を深めるだけでなく、技術の向上にも繋がったように思われます。

（研修協力：日本コヴィディエン株式会社）

